

再起する町

一月十九日（日）に車イスを押してくれる人がいたので汐入地区にある三徳汐入店に出掛けました。JR南千住駅（上野〜土浦間 明治27年開通）

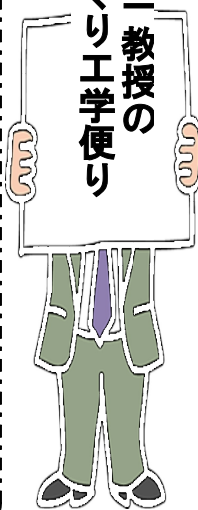
の南側にある改札口は南側にあります。改札口を出て右手にあるコツ通り（江戸時代、日本橋を起点とした江戸五街道のうちの日光街道と奥州街道の二街道が通る）は、小塚原縄手（まっすぐに延びた道）と呼ばれて、大勢の人が千住から大橋を通り山谷に向かっていました。左手のガードをくぐると、旧国鉄用品庫の跡地です。以前は天下の渡辺銀行が所有していた渡辺倉庫がありました。その後、国鉄が用品庫を作りました。今は賑やかな町ですが、戦前は夜になると真つ暗で怖くて歩けない場所でした。

☆六郎が語る☆ 南千住一口話 第220回

コツ通りは小売商が廃業し土地を売り高層マンションが建つ寂れた商店街になりました。でも春になれば桃の花が咲き乱れる町です。俳句の町として再起していきます。

今、コツ通り、ジョイフル三ノ輪、べるぼうと等の参加商店街のうち四つのスタンプを集めると景品がもらえるなどかけスタンプラリー（一月十後使われなくなり、煉瓦工場は閉鎖され八日〜二月九日）を開催しています。また、二月九日（日）11時〜17時、延命寺（日比谷線南千住駅南口）で「江戸庶民文化を遊ぼう」和太鼓ライマウンドとして利用されています。ぜひ、いらしてください。コツ通り杉山六郎

吉田喜一教授の ものづくり工学便り



荒川区における煉瓦生産

都立産技高専名誉教授 吉田喜一

荒川区域では煉瓦の原料となる荒木田土が採取できました。荒木田土は田んぼの下や河川敷などの下層で見られる粘土質です。土質としては腐植質が少なくよく粘ります。以前、荒木田土は家の荒壁土や瓦（かわら）屋根に多く用いました。

隅田川の舟運を利用できる条件を活かし、尾久の石神、山本、広岡、鈴木、戸田等の工場が設立されました。広岡煉瓦工場の跡地は荒川遊園になりました。JR常磐線南千住駅ガードも煉瓦です。荒川工業高校の塀（旧千住製絨所）、三河島汚水処理場、西日暮里の富士見坂 諏方神社前）で見ることができます。

煉瓦は地震に脆弱のため、関東大震災後使われなくなり、煉瓦工場は閉鎖されたので、国技館の土俵や野球のピッチャーマウンドとして利用されています。



今年の旅はじめは、福岡LCC日帰り旅

消費生活
アドバイザー
佐藤祐一郎

こんにちは、メガネのサトウ4代目です。先日（1月2日）、日帰り福岡へ行ってきました。いつものように成田空港からジェットスターに乗り、窓から首都圏の街や富士山の眺めを楽しんで一眠りすると、ターミナルビルが一新された福岡空港へ到着しました。地下鉄で博多駅へ移動し、バスターミナル地下の「釜揚げ牧のうどん」で昼食です。ここは、柔らかいことで知られる博多うどんのお店なのですが、確かに、コシのある讃岐うどんとはまた違った美味しさがあります。出汁もしっかりした味わいで大変気に入りました。博多駅から、JRの大回り乗車のルールに則り、「乗り鉄」の旅を始めます。隣の吉塚駅で一旦改札を出て、改めて博多駅まで福岡（ふく）北（ほく）ゆたか線・原田（はるだ）線・鹿児島本線回りで移動します。JR九州の電車は車内・外ともデザインが個性的で、新鮮な感じがします。近郊の住宅地を過ぎると、山あいの風景に変わり、九州在来線で最長の篠栗トンネルへ入ります。向こう側は、かつて炭鉱で栄えた筑豊地区です。駅舎工事中の桂川（けいせん）駅で原田線に乗り換えました。ここから先は一日にわずかに八本しかない列車ですが、乗客も疎らで、国鉄時代からの古いディーゼルカーが郷愁を誘います。近代的なバイパス道路を横目に、こちらは上り勾配をゆっくり進み、冷水（ひやみず）峠をトンネルで超え、右へ左へカーブしながら下り、田園地帯の閑散とした筑前山家（やまゑ）駅に到着。次の終点、原田駅で乗り換え、鹿児島本線の区間快速に乗車すると、みるみる住宅が建ち並ぶ大都市の車窓に変わり、駅毎に乗客が増え、博多駅に到着です。最後に、「開運勝利の神」菅崎宮をお参りしてから、帰路につきました。

当店公式ホームページでは、本コラムをカラー写真付きでご覧頂けます（PDF形式）。「南千住 メガネのサトウ」で検索下さいませ。

■メガネのサトウ ■ <https://megane-sato.com>
南千住5の43の13【東京新聞並び】
TEL 03(3806)4930

★休業日のご案内★

1月・2月 ……火曜定休です。

★営業時間のご案内★

平日（月〜金）…AM 9時〜PM 6時30分

土休日：AM 10時〜PM 5時